

子どもの森通信

第4号 2007年5月
発行：特定非営利活動法人子どもの森
宮崎県東臼杵郡門川町城ヶ丘2-2
事務局 TEL/FAX：050-3427-1102
Mail：office@kodomonomori.info
http://www.kodomonomori.info



【ゲンゲ（レンゲ）】（紫雲英、蓮華）マメ科ゲンゲ属
花期：4月～6月 【生育地】中国原産（栽培、帰化）
名前の由来：レンゲは花が集って咲くさまをハス（蓮華）の華に見たててつけられた。

〔2007年4月門川町三ヶ瀬地区にて撮影〕

平成19年2月、気候変化を研究する科学者から国民へ向けて、気候の安定化に向けて直ちに行動すること呼びかける、緊急メッセージが発表されました。気候変動に関する政府間パネル（IPCC）の第4次評価報告書で、気候変化における人為的原因が再確認され、同時に、地球規模での雪氷圏における変化などは予想以上に速く進みつつあることが確認されました。さらに、このままのペースで排出を続けると、人類はこれまで経験したことのない温暖化した時代に入ります。限りある自然の吸収力を考えると、温室効果ガスの排出を現在の半分以下にまで削減しないと気候は安定化しない。IPCCの報告書で示されたこのような知見を踏まえると、温暖化が人間社会に及ぼす影響は重大である。

この一〇〇年間における0.74

の気温上昇が全世界で様々な影響を与えたことに鑑みれば、現在と同レベルの排出を続けることの危険性は明らかであろう。地球上の各地の生態系は、こうした急激な変化に順応することができず、死滅のリスクにさらされる生物種が増える。大規模な水不足、農業への打撃、感染症の増加、自然災害の激化など様々な悪影響が複合的に生じるおそれ強い。このような事態は人類生存の危機であり、そうした未来を子どもたちに残してはいけない。

日本の平均気温は20世紀の100年間で1度上昇しています。温暖化に一番強い影響を与えているのは「温室効果ガス」と呼ばれているもので、主に二酸化炭素のことです。二酸化炭素（CO₂）は主に化石燃

気候の安定化に向けて直ちに行動を！

料を燃やすことによって発生します。具体的には、発電のために使用する石油や石炭、自動車の燃料であるガソリンや軽油、料理をつくるさまざまなガスや給湯、暖房に使用する灯油などです。また、食品や日用品などを生産、運搬、廃棄後のごみの処理など、あらゆる場面においてエネルギーが使われ、ここでも大量にCO₂が発生しています。

つまり私たちの日常生活の中での様々な活動が、温室効果ガスを増やし温暖化の原因になっているのです。今後温室ガス濃度の上昇が続けば、2100年には気温が最大5.8度上昇すると予測されています。温暖化がこのまま続けば、海面が上昇して小さな島々や低い地域が海に沈んだり、沿岸の自然生態系の破壊が起こったり、気候の変化により農作物の収穫に影響がでて世界的な食料不足に陥る可能性があります。

そこで二酸化炭素（CO₂）を大量に発生させている先進国のモラル・環境に対する意識が問われています。私たちも人事とは思わず一人一人が意識して取り組んでいくべき問題だといえます。世界に先駆け、低炭素社会の実現」という目標を共有し、私たち国民ひとりひとりが、自分の生活を見直し、温室効果ガスの低減のために何ができるか考え行動することを改めて呼びかけたい。今、行動を開始すれば、子どもたちと人類の未来を守ることができる。

「気候の安定化に向けて直ちに行動を！
科学者からの国民への緊急メッセージ」
より

環境プログラム

2007年4月～2008年3月



バードウォッチング

6月24日(土)

天気予報のとおり、昨日からの雨が朝にも降り止みませんでした。そんな天気でしたが、クリエーティブセンター門川の駐車場端にある五十鈴川河口を見渡せる東屋から、双眼鏡を使って、探鳥をしていきました。双眼鏡の使い方の説明が猪崎悦子先生(日本野鳥の会宮崎県副支部長)からありました。その後、参加者が思い思いの野鳥を双眼鏡で探していきます。鳥が見つかったら、先生が説明してくれられます。途中雨が止み、東屋から離れて鳥を探しました。



参加者にプレゼントした
会員手作りの野鳥ブローチ

《講義内容》
今日観察できた野鳥の説明
「モフシドリ」ってどんな鳥
ひなを拾わないで
ミステリアニマル
野鳥クイズ



観察できた野鳥
ゴイサギ、ダイサギ、コサギ、
アオサギ、トビ、ハクセキレイ、
セッカ、スズメ、ムクドリ、
ハシボソガラス、ハシブトガラス、
カワセミ、ヒメアマツバメ、
ウサギ、ササゴイ

デイキャンプ

8月12日(土)

子どもたちへの環境教育の一環、また成人には環境への啓発の場として、自然環境を遊びながら学んでもらうために、デイキャンプを実施しました。ネイチャーゲームでは、自然をさまざまな感覚や心を通して理解し、自然と自分が一体であることを学びます。飯盒での炊飯、釜戸でのソーセージ焼き、森の工作やバームクーヘンを作る等、自然の中で非日常的な体験をしました。



《昼食》

参加者全員でお昼ご飯の用意をしました。まずは自分の使う箸作りです。あらかじめ用意していた竹串を小刀で箸に加工してもらいました。次に、飯盒を使っての炊飯です。そして、おかずのあぶり焼きソーセージを作りました。ひき肉5kgとタマネギ・セロリ等の野菜と練りあわせ、竹の串に薄く付着させ、火に焼いて焼き上げます。

カモフラージュ

森の中に置いてある人工物を探すゲームです。さり気なく人工物が置いているだけなのに、半分以上が見つられません。もう一度探しましたが、やはり全部は探しきれませんでした。なぜ、見つけにくい物と見つけ易い物があるかをみながら考え、自然界の擬態について学びました。



あぶり焼きソーセージとバームクーヘン



《森の工作とバームクーヘン作り》

お昼ごはんを食べ終わった後、森の中にある折れた小枝などを活かしての工作と、釜戸でのバームクーヘン作りをしました。森の中には自然素材がたくさん落ちています。釜戸は、クヌギ等の枝を薪として使用していきます。森の工作が、参加者のお土産となりました。

どんぐり拾いと苗づくり

11月5日(土)

気持ちの良い秋晴れの下、子どもと森雑木林にて、どんぐり拾いを実施しました。どんぐりの苗木を育て、山へ戻す事で、「森づくり」に参加された方自身でやってもらう企画です。



《樹木博士》
森林インストラクターの大野さんの案内で、雑木林から植樹地の前を通って、そして丸太橋を渡って棚田跡へ約1kmを歩き、山に生えている樹木の名前を覚えてもらいました。樹木博士と一緒に、クヌギ・アラカシ等のどんぐりを拾っていききました。

《治水学習》

雑木林の中の腐葉土と砂を使って、土が水を吸い込む力と水を土中の留める力を実験で観察しました。

《どんぐり・クイズ》

どんぐりの不思議なクイズ形式で学習していききました。このクイズで、どんぐりを土に埋めて、芽を出させるための知識を覚えていきました。

つる取り＆つる工作

12月3日(日)
やや寒かった晴天の下、子どもと森雑木林にて、森林保全活動として、木の生長を阻害している蔓を取り、取った蔓を有効活用するために、つる工作をおこないました。つる工作講師は、「竹見野の樹」主宰の日高イセノさんです。



そばのおばあさんのエコロジ

2007年2月4日(日)

講師の蒲生芳子さんのモットーは「ゆつくり」。そばのおばあさんのエコロジ」という名前前で、様々な循環と取り組みながらエコロジ活動を行っています。

《ピオトープ BioTop》生物の棲みか
ドイツ政府のピオトープ政策の紹介等、ピオトープは、「メダカを戻しましよ」「虫の里を作りましよ」と言った固体種の指標ではなく、水辺から始まる生物等の生態系を作ることです。



蒲生芳子さん

《菜の花プロジェクト》
日本では、食用油に菜種油が使われていたが、現在は、安い輸入材料による製品化された不純物一杯の食用油を使っている。値段は高いが安心な菜種油を使いたい。菜種油で天ぷらを作って、その廃油で車を走らせる。宮崎市では3台のゴミ収集車が菜種の廃油で走っています。

《身土不二(しんどふじ)》
そこで取れた(生産された)物を食べると自然環境が循環する。食物連鎖の頂点にいる生物は死ぬと土に返るので、食物連鎖の底辺にいる微生物の養分となる食物連鎖が存在している。牛肉を輸入すると牛を育てた国の水や穀物を同時に輸入することに、正常な食物連鎖が崩れている。日本の食物自給率は40%だが、単に食物だけの問題ではなく、他国の環境悪化を促進していることになる。

《がまごう庵》
地元でできた蕎麦を使って石臼で粉にし店です。お店の横にピオトープを作り、店舗排水は、炭で浄化して流している。バイオマスのトイレの設置や土民家を移設して使用など、循環型環境を実践しています。

《ハチドリの一滴》

この物語は、南アメリカの先住民に伝わるお話です。

森が燃えていきました。森の生きものたちはわれ先にと逃げていきました。でもクリンデイという名のハチドリだけはいつたりきたり。口ばしで水のしずくを一滴ずつ運んで、火の上に落としていきます。動物たちがそれをを見て「そんなことをしていつた何になるんだ」といつて笑います。クリンデイはこう答えます。「私は、私にできることをしているだけ」この短い物語の中には、皆さんの教えがまつています。地球温暖化、戦争、飢餓、貧困……。私たちの地球には深刻で大きな問題がいつぱいあります。動物達は、火の消し方を知らなかったのかも知れませんが、クリンデイを英雄視しているのではありませぬ。

『あなたのできることと私ができること』を教えているのではないのでしょうか。

しいたけ栽培体験(五十鈴小学校) 3月9日(金)

昨年引き続き、総合学習の時間を使って子どもたちが町内の暮らし、農林水産業と環境の(学習の一環として、椎茸のコマ打ち体験を行いました。椎茸コマ打ちを体験したのは、4年生の子どもたち60人です。最初に、講師の大野さんから、林業の話と椎茸栽培の話をしてもらい、横山理事から今日の作業説明の後子どもたちが8班に分かれて、1人が2本の原木にコマ打ちに挑戦しました。子どもたちが自身でドリルを使って原木(クスギ)にコマ穴を開けて、金槌でコマを打ち込んで行きました。



森づくり

2007年4月~2008年3月

「子どもの森」森林整備

下草刈り 5月21日
苗木の保守
3月に実施した植樹の苗木に絡みついたり蔓の除去と下草刈りをしました。苗木の一部は、葉が虫に喰われていましたが、概ね元気に根付いています。植樹したばかりなのに、ヤマボウシにはもう花が付いています。

ベンチ作り
ヤマモモやホルトリキ等を植樹した柵田跡上段に、ベンチの設置をしました。テーブル部分は、次回の整備で完成させる予定です。もちろん、初伐間伐した杉を使っています。

枝のチップ化
昨年の雑木林整備で、伐採していた小枝を、久しぶりに粉碎機を使いチップ化しました。チップは、雨による階段の滑りを防止するために、階段と通路に撒きました。

育林 7月2日
今日も雨(梅雨だからしかたないけど)柵田跡を中心に下草刈を実施しました。雨のため参加者が少なく、雨具の中が汗びっしょりになりながら、全員が草刈り機を使っての作業となりました。

下草刈り 9月3日
《MRT「おしえてみやぎき」取材撮影》
3月に植樹をしたフィールドの下草刈りを行いました。今回の下草刈りは、MRTの「おしえてみやぎき」の取材撮影がありました。番組の中で、田内裕子アナウンサーが実際に下草刈りを体験しました。自然環境の話題でボランティア団体が、森づくりに積極的に関わることが、環境問題に取り組んでいることが、取材の趣旨です。植樹をして杉との混合林となった所



は、育林鎌を使って、苗木を中心に50センチほど坪刈りをしました。柵田跡の植樹地は、刈払い機で全刈りとなりました。天気が良くて、まだまだ残暑厳しい日だったので、参加者みんな汗びっしょりになりました。

森林の再生活動

台風で植林されていた杉が流された門川高等学校演習林の自然環境の復元を図り、水源の涵養や災害防止など森林の持つ公益的機能の再生させるため、宮崎県森林環境税から活動資金の一部助成を受け、門川高等学校生徒と一緒に、地ごしらえ作業から行いました。最終回では、イロハモミジ・ケヤキ・ヤマザクラ・イチイガシを植樹しました。今後は、五感で森林自然を感じることが出来るように整備をしていきます。

- * 第一回 12月9日(土) * 第二回 1月21日(日)
- * 第三回 2月18日(日) * 第四回 3月21日(祝)
- * 最終回 3月25日(日)

最終回：植樹 門川高校手づくり看板「GOCANの森」の前にて



森林の再生活動報告は「子どもの森通信」3号に詳しく掲載しています。



田内アナ作業にヘルメットは必需品です!

【平成19年度活動計画】

月	事業名	場所	備考
5	第6回通常総会	ガーデンパルク 延岡	
6	植樹地の下草刈	子どもの森	平成17年度植樹地
	五十鈴小学校での椎茸栽培 しいたけ原木本伏せ	五十鈴小学校	
	森づくりボランティア協議会総会/研修	日向サンパークオートキャンプ場	
7	環境プログラム デイキャンプ(&ネイチャーゲーム)	門川高校研修棟	(県ネイチャーゲーム協会) アエックス宮崎ネイチャーゲームの会
8	植樹地の下草刈	GOCANの森	平成18年度植樹地
9	森林整備	子どもの森	
10	五十鈴小学校での椎茸栽培 しいたけ原木ほだ木起こし	五十鈴小学校	
11	森林整備	GOCANの森	
	環境プログラム 森と遊ぼう(ネイチャーゲーム&クラフト)	子どもの森	(県ネイチャーゲーム協会) アエックス宮崎ネイチャーゲームの会 裏工作:日高イセノさん
12	環境プログラム パードウォッチング	五十鈴川河口	講師:猪崎悦子さん
1	森林整備	GOCANの森	
2	環境プログラム 環境問題を考える講演会	未定	講師:未定
	森林整備	GOCANの森	
3	森林整備	GOCANの森	東屋の設置
	環境プログラム 植樹	GOCANの森	平成17年度どんぐり拾い参加者



平成18年度コカ・コーラ環境教育
環境教育賞主催者賞受賞

★★表 彰★★

★★助成金の決定★★
平成19年度
九州ろうきんNPO助成金
九州労働金庫宮崎県本部
環境プログラム(体験型啓発)と広報紙作り
二〇〇万円
平成18年度
宮崎県環境森林税
森の再生活動
一一八〇八〇円
宮崎県ボランティア基金
二二九〇〇〇円

森林整備の作業時間は約3時間(小雨決定)

他に「みやざき森づくりボランティア協議会」活動があります。 活動の情報発信のためにWebページの運営と広報紙の発行。



森づくりボランティア協議会
どんぐり工作&展示コーナー



子どもの森オリジナル
どんぐりスノーマン



理事長がパネラーとして参加

地球温暖化防止活動推進フェスティバル
《参加団体》
11月18日

- ・宮崎グリーンヘルパーの会
- ・ロキシーヒル
- ・水源の森づくりをすすめる会
- ・MFV会
- ・子どもの森



理事長による活動発表

『水と緑の森林づくり』県民ボランティアの集い
10月29日
昨年引き続き森林
づくりボランティアに
参加しました。
宮崎県主催で、県内の
森林ボランティア、緑の
少年団、林業関係者、市
町村等約600名の参
加がありました。
今回の参加は特別で、
横山理事長による、子
どもの森の活動発表があ
りました。

森づくりボランティア女性リーダーの集い
11月12日

宮崎県と県緑化推進
機構が進めてきた森づ
くりボランティア女性
リーダー養成講座第1
期生から4期生までの
延べ89名の女性リーダ
ーの養成が終わりました。
受講生の、これから
の森づくりボランティア
に対する取り組み向
上のために、今回の集い
が開催されました。

みやざき森づくりボランティア協議会
研修テーマ「安全」
1月27日・28日



チェーンソー作業の実技
講師(山ノ上洋征氏)



救命救急 AEDの使い方
講師(竹下裕一氏)

記 18年度新しく取り入
れた環境プログラムのデイキャ
ンプは、初めて参加をお断りす
るほどの申込がありました。
スタッフ不足で、皆さんに助
けられたデイキャンプとはなり
ましたが、参加者の方には、森
で一日楽しくすごしてもらった
かと思えます。楽しんでもら
って環境のことも考えてもらえ
るような企画を考えるのは、毎
回大変です。これでよかった
のかと反省することばかりで
す。しかし、とてもやりがい
があり、自分自身も楽しく活動
しています。まだまだ、子ども
の森の活動を知らない人もた
くさんいるので、もっと多くの
人に活動を知ってもらえたら
と思います。

編 集 後 記

ECO企業からの賛同
環境プログラム(どんぐり拾いと
苗づくり)で使用した、苗木育成の
鉢は、成分解性澱粉樹脂(とうもろ
こし)でできていて、土壌微
生物により分解されて、2
年後には自然
に戻る環境にやさしい
製品です。昨年に続いて、開発元の
有限会社エフケー殖産(宮崎市)様
より無償提供していただきました。